



平成会
濱崎 清志
議員

【関連質問】

▼事業の実施に伴う予算について

Q 敬老事業の高齢者無料入浴サービスについて、期間延長を前提に担当部署に指示をしたという答弁があったが、延長分の経費は今年度の予算に計上されているのか。

A 当初予算での計上は昨年度実績に基づいた金額であり、期間延長に伴う追加予算が必要となれば、今後補正予算をお願いすることになると考えている。

Q 予算の裏付けがあつて、初めて事業は実施できるものと考えているが、今回の方法について市長の考えはどうか。

A 事業と予算は表裏一体で行われるものだとして認識している。敬老無料入浴期間については、短期間のために混雑している状況や、通常の利用者にも影響が出ているのではないかと心配もあり、期間延長の検討を指示した。今年度の実績を見て、次年度からは当初予算に計上するべきだと考えている。

委員会活動

6月26日及び7月1日の本会議で付託された議案について、総務委員会（6月26日、7月2日）、産業建設委員会（7月3日）、教育厚生委員会（7月4日）、予算審査特別委員会（7月8日）を開き審査しましたので、概要をお知らせします。

また、閉会中に開催した行財政改革特別委員会の審査状況をお知らせします。

総務委員会

付託された議案三件を審査しました。

○第四十号議案 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例

一般職の職員の給与の減額を特例的に定めるため、この条例を制定しようとするもの。

〔質疑〕減額される給与総額の内訳は。

〔答弁〕給料が約八千六十万円、職員手当が約百五十八万円で、合計は約八千三百万円になる。それに共済費を合わせると約一億百万円の減額と試算している。

〔質疑〕級別の減額金額と、全体の平均減額金額は幾らか。

〔答弁〕七月から三月までの九カ月間で、各級別の平均は一級が約八万円、二級が約九万五千円、三級が約十九万八千円、四級が副主任で約二十三万五千円、主任で約二十五万六千円、五級のグループ長が約二十七万四千円、六級のグループ長が約三十三万二千円、部長級が約三十四万三千円であり、全体では平均約二十一万八千円の減額となる。

このほか、出向中の職員の取り扱い、国家公務員との比較等について質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。



○第四十二号議案 あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について

島原市津町地先の長崎県施工の島原港海岸保全施設整備事業に伴う公有水面埋立てにより生じた土地について、議会の議決を経て確認し、町の区域を変更しようとするもの。

〔質疑〕埋め立てに係る市の財政負担があるのか。

〔答弁〕市の財政負担はない。

〔質疑〕護岸工事は県が実施しているが、補修や修繕はどこが工事をするのか。

〔答弁〕県が行うことになる。採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。